

可能性の空間

[空間論演習2]

2014/09
- 2015/01

授業期間の毎週木曜日18時～風光館3F建築学科フォーラム(F-331)にて

(来場人数や大学側の都合により会場を変更する場合があります。変更の際はTwitter (<https://twitter.com/seikaarchitect>) 等でお知らせします。)

この連続レクチャーシリーズは、建築学科教員及びゲスト講師が空間をめぐる対談や講演を行います。建築という枠を超えて、さまざま角度から空間を捉えることで新たな発想が生まれ、思考の可能性が広がることを期待します。建築学科の授業「空間論演習」となっていますが、オープン講義ですので他学科の学生や一般の皆様も自由に聴講できます。是非ご参加ください。

09|18 113

「光という素材」

小川重雄 × 荒谷省午 <Coordinator: 後藤直子>

(写真家) × (建築家/京都精華大学講師) / (PLACE LAB.代表/京都精華大学講師)

09|25 114

「建築からつながるもの」

永山祐子 × 津田朋延

(建築家) × (建築家/京都精華大学講師)

10|02 115

「京都の都市構造と住居モデル」

魚谷繁礼 <Coordinator: 後藤直子>

(建築家)

10|09 116

「建築デザインの秘訣」

前田紀貞 <Coordinator: 鈴木隆之>

(建築家) / (建築家/小説家/京都精華大学教授)

10|16 117

「ART COMPLEX — 複合の空間。芸術、舞台、創造の場のつくりかた」

小原啓渡 <Coordinator: 後藤直子>

(アートコンプレックスグループ統括プロデューサー)

10|23 118

「展覧会の舞台裏と制作現場」

佐野誠 × 津田朋延

(美術制作集団 スーパー・ファクトリー代表)

10|30 119

「プレートテクトニクス境界の旅」

中谷礼仁 <Coordinator: 鈴木隆之>

(早稲田大学教授, 歴史工学)

11|06 120

「茶室の中の釜、外の釜」

大西清右衛門 × 津田朋延

(釜師大西家の十六代当主/大西清右衛門美術館館長)

11|20 121

「HOUSE VISION ASIA — アジアから暮らしを見つめなおす」

林憲吾 × 土谷貞雄 <Coordinator: 後藤直子>

(総合地球環境学研究所プロジェクト研究員) × (HOUSE VISIONコーディネーター)

11|27 122

「これまでの活動から」

川嶋貫介 <Coordinator: 鈴木隆之>

(建築家/京都精華大学特任准教授)

12|04 123

「思想としての衣と身体」

COSMIC WONDER: 前田征紀 × 津田朋延

(アート+ファッション・オーガニゼーション: アーティスト)

12|11 124

「〈建築〉の外へ — 路上・ヴァナキュラー・物質文化」

佐藤守弘 <Coordinator: 鈴木隆之>

(京都精華大学教授, 視覚文化論)

01|08 125

「人間 — 環境系のデザイン」

門内輝行 <Coordinator: 鈴木隆之>

(京都大学大学院教授, 建築・都市記号論)

小川重雄 (Shigeo OGAWA)

113「光という素材」

1958年生まれ。1980年日本大学芸術学部写真学科卒業。1986年株式会社新建築社入社、1991年より新建築写真部長。2008年小川重雄写真事務所設立。2012年、東京大学にて写真展「Perspective Architecture」を開催。2014年、Gallery Oと瑞龍寺大茶室にて写真展「瑞龍寺—四百年前のモダニズム」を開催。現在、日本大学芸術学部写真学科非常勤講師、法政大学デザイン工学部建築学科研究科兼任講師。URL : ogawa-studio.com

荒谷省午 (Shogo ARATANI)

建築家。1971年大阪府生まれ。1996年徳島大学工学部建設工学科卒業。1996～2000年無有建築工房。2000年荒谷省午建築研究所設立。2005～2009年 大阪市立大学生活科学部非常勤講師。2010年～京都精華大学建築学科非常勤講師。受賞＝関西建築家新人賞、大阪建築コンクール奨励賞。

永山祐子 (Yuko NAGAYAMA)

114「建築からつながるもの」

建築家。1975年東京都生まれ。1998—2002年青木淳建築計画事務所勤務。2002年永山祐子建築設計設立。主な仕事に、FLOUIS VUITTON京都大丸店(2004年京都)「丘のある家」(2006年東京)「カヤノ珈琲」(2009年東京)「木屋旅館」(2012年愛媛)「豊島橋尾館」(2013年香川)「勝田台のいえ」(2013年千葉)など。2006年 AR Awards (UK)「Highly Commended賞」をはじめ2012年「Architectural Record Design Vanguard Architects 2012」など受賞歴多数。

魚谷繁礼 (Shigenori UOYA)

115「京都の都市構造と住居モデル」

建築家。1977年生まれ。兵庫県出身。2001年京都大学工学部卒業。2003年京都大学大学院工学研究科修了。「京都型住宅モデル」(2007年)により都市住宅学会賞業績賞、京都デザイン賞京都府知事賞、「紫竹西南町の住宅」(2011年)により京都市環境配慮建築物顕彰制度優秀賞、「西都教会」(2011年)により関西建築家新人賞などを受賞。現在、魚谷繁礼建築研究所代表。京都建築専門学校、京都造形芸術大学、大阪工業大学、及び、近畿大学にて非常勤講師。

前田紀貞 (Norisada MAEDA)

116「建築デザインの秘訣」

1960年東京都生まれ。京都大学工学部建築学科卒業。前田紀貞アトリエ一級建築士事務所・前田紀貞建築塾主宰。国士館大学建築学系講師。『INAX GINZA』でディスプレイ産業大賞経済産業大臣賞(2007年)。『Device #9』でデダロミッソ国際賞特別賞(Italy,2004年)。「成城の家」で東京都建築士事務所協会住宅賞(1995年)。現在はアルゴリズムに基づいた住宅シリーズや台湾に「澎湖リゾートホテル」などを設計中。

小原啓渡 (Keito KOHARA)

117「ART COMPLEX — 複合の空間。芸術、舞台、創造の場のつくりかた」

1960年兵庫県生まれ。(株)アートコンプレックス、リッジクリエイティブ(株)、(有)1928代表取締役。NPO法人ライブエンターテイメント推進協議会理事長。舞台照明技術者として活動後、コンテンポラリーダンスの母・Susan Buirgeの舞台監督として約7年間ヨーロッパで経験を積む。1999年京都三条御幸町に「アートコンプレックス1928」を立ち上げ、プロデューサーに転向。劇場プロデューサーの他、文化支援ファンドの設立や、造船所跡地をアートスペース「クリエイティブセンター大阪」に再生するなど、芸術環境の整備に関わる活動を続ける。他にも、文化芸術を都市の集客や活性化につなげる数々のプロジェクトを打ち出している。

佐野誠 (Makoto SANŌ)

118「展覧会の舞台裏と制作現場」

美術制作集団スーパー・ファクトリー代表。1955年生まれ。建設会社で約20年トンネル工事現場などの担当を経て1998年にスーパー・ファクトリーを創設。現代美術の現場において作品制作や展示施工をおこなう。曾根裕、東芋、マシュー・パーニー、エルネスト・ネト、オラファー・エリアソンらさまざまなアーティストとの協働、横浜トリエンナーレ、サンパウロ・ビエンナーレ、東京都現代美術館や丸亀市猪熊弦一郎現代美術館、金沢21世紀美術館などの多数の展覧会で会場構成や作品展示に携わる。

中谷礼仁 (Norihito NAKATANI)

119「プレートテクトニクス境界の旅」

1965年生まれ。早稲田大学理工学術院建築学科教授。特異な活動で知られる建築史家。近世大工書研究から始まり、土地形質の継続性と現在への影響の研究(先行形態論)、今和次郎が訪れた民家を再訪し、その変容を記録する活動の主宰をへて、最近では千年続いた村研究—千年村研究—等を行っている。2013年1月から9月までユーラシアプレートの境界上の居住文明のありようを探索しに、インドネシアから、インド、イラン、トルコ、ギリシャ、アフリカ北部ジブラルタルまで巡歴。著書に『今和次郎「日本の民家」再訪』滙青会名義(平凡社、2012)『セヴェラルネス+事象連鎖と都市・建築・人間』(鹿島出版会、2011)『国学・明治・建築家』(一季出版、1993)など。

大西清右衛門 (Seiwemon ONISHI)

120「茶室の中の釜、外の釜」

千家十職の釜師大西家の十六代当主、大西清右衛門美術館館長。1961年京都生まれ。大阪芸術大学美術学部彫塑科卒業。1993年大西清右衛門16代を襲名。14～16世紀の金製作技法「挽き中子」の再現に成功。1998年大西清右衛門美術館開館、館長就任。2003年京都市芸術新人賞受賞。2009年国立民族学博物館「千家十職×みんぱく茶の湯のものづくりと世界のわざ」展出展。東京日仏学院にてSerge Mouangue wafrikaイベント内wafrika茶会釜の釜担当。2010年セゾン現代美術館「遭遇、カオスにていつの過去もかつては未来だった」展出展。2013年KyotoGraphie国際写真フェスティバルにて写真と釜を出展。2014年美術館「えき」KYOTO「御釜師400年の仕事大西清右衛門茶の湯釜の世界」に出展。京都府芸術文化賞功労賞受賞。

【お問い合わせ先】京都精華大学デザイン学部建築学科・京都市左京区岩倉木野町137・http://seika-architecture.jp/・E-mail⇒architec@kyoto-seika.ac.jp・twitter⇒@seikaarchitect・【精華大学へのアクセス】叡山電鉄「京都精華大前駅」下車すぐ・地下鉄「国際会館駅」3番出口右30mの専用バス停よりスクールバス

林憲吾 (Kengo HAYASHI)

121「HOUSE VISION ASIA — アジアから暮らしを見つめなおす」

1980年兵庫県生まれ。総合地球環境学研究所メガ都市プロジェクトメンバー。2009年東京大学大学院博士課程単位取得満期退学。同年4月より現職。インドネシアを中心とした東南アジアの近現代建築・都市史が専門。近年はインドネシア・ジャカルタにて、地域毎の居住環境の違いや人々の暮らしに対する意識などを調査研究している。共著として、『千年持続学の構築』、『シンバ遺産』など。

土谷貞雄 (Sadao TSUCHIYA)

1960年東京生まれ。1989年日本大学理工学部修士課程修了。1989年イタリア政府給費留学生。1994年に帰国、その後ゼネコンにて現場から設計営業を学ぶ。2001年独立しコンサルタントして住宅系の営業支援業務を行う。2004年無印良品で家の商品開発と全国展開を行うために良品計画のグループ会社ムジネットに入社。2007年ムジネット取締役役に就任。2008年住宅系の商品開発およびWEBコミュニケーションの企画立案を主として独立。現在はHOUSE VISIONの活動を東南アジア各地で展開中。

川嶋貫介 (Kansuke KAWASHIMA)

122「これまでの活動から」

1974年生まれ。早稲田大学大学院修了。妹島和世建築設計事務所／SANAAに勤務し、金沢21世紀美術館などの設計を担当した後、かわしまかんすけ事務所設立。現在、京都精華大学特任准教授、かわしまかんすけ事務所代表取締役、早稲田大学理工学総合研究所嘱託研究員、日本工業大学非常勤講師。

COSMIC WONDER: 前田征紀 (コズミックワンダー: Yukinori MAEDA)

123「思想としての衣と身体」

1997年から活動を開始。2000年よりパリコレクションに参加。2007年東京青山に「Center for COSMIC WONDER」を作品発表の場としてオープンさせる。2014年よりサステナブルな新たな概念によるCOSMIC WONDER「First Light」を始動。主宰の前田征紀は京都精華大学で建築を学んだ後、Yukinori Maedaとして現代美術作家としても活動する。

佐藤守弘 (Morihiro SATOW)

124「(建築)の外へ — 路上・ヴァナキュラー・物質文化」

コロンビア大学大学院修士課程修了。同志社大学大学院博士後期課程退学。博士(芸術学)。芸術学・写真史・視覚文化論専攻。著書に『トポグラフィの日本近代』(青弓社)など。最近の論文に「写真と仏像—仏の美-化と商品化」(『文化学年報』62輯)、「白鳥夢としての京都—『そうだ 京都、行こう。』が約束する未来」(『美術フォーラム21』27号)、「フジヤマの両義性—地理学とピクチャレスク」(『現代思想』41巻14号)など。翻訳にジェフリー・パッチェン『写真のアルケオロジー』(共訳)など。2012年、芸術選奨新人賞(評論等部門)受賞。

門内輝行 (Teruyuki MONNAI)

125「人間 — 環境系のデザイン」

1973年京都大学工学部建築学科卒業。1975年東京大学大学院修士課程修了。同博士課程退学後、京大工学部生産技術研究所助手、早稲田大学理工学部助教授、同教授を経て、2004年より京都大学大学院工学研究科建築学専攻教授。博士(工学)。建築・都市記号論、設計方法論を中心に、人間と環境との関係を解読し、デザインする方法論の研究と実践に従事。「街並みの景観に関する記号学的研究」により、1998年日本建築学会賞(論文)を受賞。日本建築学会理事、日本記号学会理事、京都市美観風致審議会会長などを務める。主な著書に、『設計方法Ⅳ・Ⅴ』(彰国社)、『人間—環境系のデザイン』(彰国社)、『記号としての芸術』(勁草書房)、『建築・都市計画のための空間計画学』(井上書院)など。

<Coordinator>

鈴木隆之 (Takayuki SUZUKI)

京都精華大学建築学科教授。京都大学卒業。建築家・小説家。第30回群像新人文学賞。「世界建築家展」(1995年)、「SDレビュー展」(2006年)。建築近作に「小説家の家」他。著書に『ポートレート・イン・ナンバー』『未来の地形』『500万で家をつくらうと思った』など。

津田朋延 (Tomonobu TSUDA)

建築家。京都精華大学建築学科非常勤講師。1972年大阪生まれ。2003年sunia一級建築士事務所を設立。建築・空間設計をおこなう。代表作に「graf labo」「由布院の家」「salon de the JOURMER」「宝塚の家」「浄土寺の家」「焼鳥市松」など。2011年「森をひらくことT.O.D.A」でSDレビュー選出。また美術家の大竹伸朗の「直島銭湯 I♥湯」「女根」「網膜屋」「記憶濾過小屋」などのプロジェクトにおいて設計や制作を担当する。

後藤直子 (Naoko GOTO)

PLACE LAB.一級建築士事務所代表。1972年生まれ。京都精華大学美術学部デザイン学科卒業。若林広幸建築研究所等を経て、2006年PLACE LAB.を設立。建築設計の他、グラフィックデザイン、企画や広報の活動も行う。現在、京都精華大学建築学科非常勤講師、日本建築家協会近畿支部広報委員長。



表現の大学
SEIKA